



国立公園とは、国が指定・管理する「日本を代表する自然の風景地」のことで、現在、全国に28カ所あります。西海国立公園は、九十九島、平戸諸島、五島列島などの地域を範囲として、昭和30（1955）年3月16日、全国で18番目の国立公園に指定されました。大小約四百にも及ぶ島々が浮かぶ外洋性多島海を特色としています。

18番目の国立公園

美しき多島海「西海国立公園」

西海国立公園誕生までの道のり

第二次世界大戦後、市では、まちづくりの重要な目標に「観光立市」を掲げ、九十九島を国立公園にしようとする運動が始まりました。既に国立公園指定の運動を始めていた県北や五島地域の関係する町村に働き掛け、一体となって国立公園実現を目指す態勢を整えました。昭和25（1950）年に候補地の名称を「西海」と決定し、西海国立公園指定期成会が結成されました。それ以来、市・県・関係町村、学識者などが、公園化のための島々の公有地化、観光施設の整備、学術調査、国への請願など熱心な運動を展開した結果、昭和30年に西海国立公園が誕生しました。

これからの西海国立公園

西海国立公園は、自然公園法に守られ、過剰な開発が行われることなく豊かな自然を残してきました。50周年を迎えた今、わたしたち一人ひとりが「環境」や「自然」を大切にするとした国立公園の意義をあらためて認識し、いつまでも美しい自然を残していくよう取り組むことが必要です。



展海峰から望む新緑の九十九島（撮影：北野末吉さん）



体感！九十九島

3月16日、西海国立公園「九十九島」は、国立公園指定50周年を迎えます。豊かな自然が、四季折々の表情を見せる九十九島はその景観の美しさに加え、さまざまな生き物をはぐくんでいます。また、複雑に入り組んだ海岸と島々が、自然の防波堤の役割を果たし、海域は穏やかで良好な漁場としてわたしたちに海の恵みを与えてくれます。西海国立公園50周年を契機に市などでは、あらためて九十九島の魅力を知ってもらおうと、さまざまな取り組みを行っています。この機会に、「体感！」してみませんか。



石岳展望台から望む九十九島の夕景（撮影：北野末吉さん）

九十九島に行こう



南九十九島と北九十九島 九十九島は、佐世保市、小佐々町、鹿町町、田平町に属します。佐々川の延長線上で南北に分け、佐世保市側を南九十九島、黒島や高島など佐世保市の一部と小佐々町から以北を北九十九島といいます。

西海国立公園 指定50周年記念式典

- と き 5月29日（日）  
【1部】13時30分～14時30分  
【2部】15時～16時
- と ころ アルカスSASEBO
- 内 容 【1部】平戸、五島、上五島地区の伝統芸能など  
【2部】作曲家・羽田健太郎さんを招き、「西海讃歌」の演奏や50周年記念歌の発表など
- 募集人数 約千人  
応募多数の場合は抽選
- 申し込み 往復はがきに住所、氏名、電話番号、参加人数（1枚につき2人まで）を書いてお送りください
- 締め切り 4月28日（木）必着
- あて先、お尋ね 〒858-0922 鹿子前町1008 西海パールリゾート内 西海国立公園協会事務局 (☎26-8822)